

公共事業の再評価に係る対応方針

平成14年度長野県公共事業評価監視委員会の意見書を踏まえ、次のとおり対応方針を決定する。

- 1 再評価対象箇所8箇所のうち6箇所は、以下のとおり大幅な見直しを行います。

(内訳表)

各部	事業種別	箇所名	継続	うち見直し	見直しの内容
林務部	地域防災対策 総合治山事業	上田市 虚空蔵山	1	1	工法の見直し
		上村 蛇洞沢	1	1	工法の見直し
	地すべり防止 事業	明科町 白牧	1	—	
		鬼無里村 奥裾花	1	1	計画の一部凍結及び 地域との連携強化
	復旧治山事業	松川町 小八郎	1	—	
		御代田町 清水河原	1	1	地域との連携強化
白馬村 城の腰		1	1	工法の見直し	
土木部	道路改築事業	佐久市 平賀バイパス	1	1	早期の供用開始等
計			8	6	

(注) 各箇所の見直しの内容については、別紙のとおり

- 2 全事業に共通する事項

(1) 事業の見直しに当たっては、住民参加を含めた地域との連携強化や地域への説明責任に努める。

(2) 事業実施に当たっては、自然条件や環境に配慮し、適切に対応する。

(3) 各部局間の事業調整を十分に行い、効果的に事業を実施する。

3 個別事業で特に配慮する事項

(1) 地域防災対策総合治山事業 上田市 虚空蔵山

① 引き続き、流域の大きさ、土砂崩落の状況、安全性や投資効果を考慮した工法により対策を進めるとともに、工費の縮減に努める。

② 治山事業の過去の経緯や効果について、上田市と連携し、塩尻地区の歴史的記録として残す。

(2) 道路改築事業 佐久市 平賀バイパス

① バイパス供用後の地域住民へもたらず影響やバイパス沿線の土地利用などの将来像について、まちづくりの主体となる佐久市や地域住民との意見交換及び情報交換を行うなど、連携を図りながら事業を進める。

② 歩道については、地域住民の意見を聞きながら、利用者の視点に立った歩道の計画を検討する。

別紙

平成14年度公共事業再評価による見直し

部局名	事業種別	箇所名	見直しの内容
林務部	地域防災対策 総合治山事業	上田市 虚空蔵山	谷止工や床固工のコンクリート構造物をとりやめ、上流部の森林整備と併せた小規模な木製構造物にすることにより、環境・景観に対する配慮や工費の縮減を図る。 ・縮減額 C=8百万円
	地すべり防止 事業	上村 蛇洞沢	上流部の地すべり対策工事により、土砂流出の危険性が少なくなったため、谷止工の計画をとりやめ、河床に堆積している土砂を整理する工法に変更することにより、工費の縮減を図る。 ・縮減額 C=28百万円
		鬼無里村 奥裾花	地すべり対策工事の内、左斜面の160mは地すべり活動が確認されているので早急に杭打工、水路工を実施する。 右斜面226mについては、現在、地すべり活動が沈静化しているため、財政が厳しい間、杭打工を凍結する。 ・凍結する事業費及び施工延長 C=12億円 L=226m
復旧治山事業	御代田町 清水河原	事業の中間段階において、治山事業の実施状況についての説明会を行い、地域住民の意見を聴き、今後の事業に反映させる。また、住民参加型公共事業を目指し、地域の住民が直接参加できる部分(植樹等)については、連携して事業を進めていく。 ・縮減額 C=1百万円	
	白馬村 城の腰	事業完了を来年度にひかえ、当地区の森林の維持管理方法について、地域住民の理解と参加を得るために検討会を開くなど、地域と連携した森林の整備を進めていく。	
	白馬村 城の腰	現場打法枠の型枠を円形の簡易な型枠を使用するタイプに変更することにより、工費の縮減を図る。 施工面積 A=7,000㎡ ・縮減額 C=79百万円	
土木部	道路改築事業	佐久市 平賀バイパス	バイパス未施工区間の暫定断面での施工や2箇所ある埋蔵文化財調査を同時に行い調査期間を早める等、工事期間を短縮し供用を早めることにより、現道の危険を解消する等の整備効果の早期発現を図る。 ・供用開始日の短縮 2年3ヶ月程度 区間 L=2,290m 歩道部にコスモスの植栽を計画し、「コスモス街道」として親しまれる道づくりを目指す。